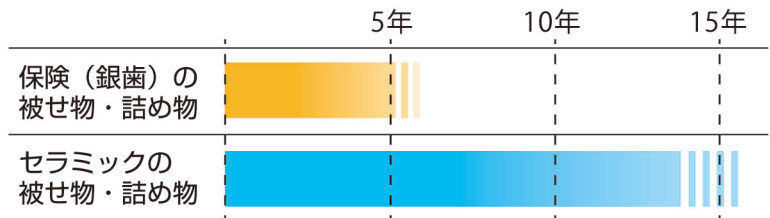


被せ物や詰め物もチェックとお手入れが大事

辛い治療を終えて装着した被せ物や詰め物も、残念ながら”一生もの”というわけにはいきません。お口の中は、食べ物や飲み物を噛み砕いたり、食事のたびに酸性になったりと、過酷な環境なので被せ物や詰め物も少しずつ劣化します。特に、保険適用の被せ物や詰め物はセラミック素材のものに比べると、劣化しやすく、お口の健康に及ぼす影響も多くなります。劣化した被せ物を早い段階で発見するため、また、被せ物などをできる限り長持ちさせるためには、歯科医院での定期的なチェックとお手入れが重要です。

被せ物や詰め物の使用年数の目安



※セラミックの場合、現在も品質の改良がなされており、20年経過後も80%以上は問題なく使えているという研究結果もあります。

上の表は、お口の状況やかみ合わせの力などによっても変わりますが「被せ物は何年くらいもつか」を表したものです。

特に保険適用の被せ物などは劣化すると様々な影響が

はずれやすくなる



口臭の原因になる



プラークが溜まり歯周病に



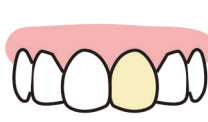
かみ合わせに影響



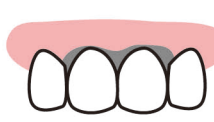
土台が腐食し根っこ部分に影響



変色し見た目がよくない(特に前歯)



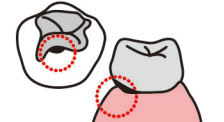
金属の腐食が原因で歯ぐきが黒ずむ



金属イオンが溶け出し金属アレルギーの原因に

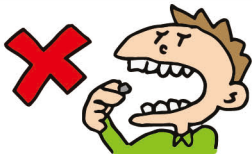


隙間からむし歯に(2次カリエス)



被せ物や詰め物が取れた時の注意点

被せ物などが取れた歯は脆い状態なので、力がかかると欠けたりヒビが入ったり、割れてしまうことがあります。できる限り早く受診しましょう。



自分で元に戻さない

自分で元の位置に戻そうとすると、無理な力で被せ物などが変形してしまったり、歯が欠けたり割れてしまったりする場合があります。



接着剤などでつけない

接着剤でつけてしまうと、歯と被せ物の間に雑菌を閉じ込めたり、隙間ができたりして、歯や歯ぐきの状態に影響する可能性があります。



歯科医院に行くまで大切に保管

歯や被せ物に問題が無ければ、取れたものをそのまま使える場合があります。容器等に大切に保管し、受診時に持参しましょう。